

2022年10月31日

研究参加者 各位

参加者のみなさまへの説明とお願い

研究責任者

所属 (一社) 全国日常生活支援住居施設協議会

職名 代表理事

氏名 立岡 学

この度は、本研究「日常生活支援住居施設の研修教材及び研修手法の開発等に関する調査」につきまして、参加をご検討いただけますことに心より感謝申し上げます。以下、順を追ってご説明させていただきます。十分にご理解をいただきました上で、研究参加にご同意頂けるかどうか、自由意思でご決定ください。また一度は参加に同意された場合でも、随時、同意を撤回できます。参加してもしなくても、また同意を撤回しても、参加者や参加者の所属組織が不利な扱いを受けるようなことはまったくありません。

なお、ここでは研究の目的や方法、個人情報等の取り扱い等をご理解の上、研究に参加することを同意された方を研究参加者と呼ぶことといたします。

1. 研究の名称は令和4年度厚生労働省社会福祉推進事業「日常生活支援住居施設の研修教材及び研修手法の開発等に関する調査」です。

2. 研究の目的及び意義

(1) 研究の目的

日常生活支援住居施設における個別支援計画の作成からモニタリングや見直し、再計画など支援展開に関する一連の手法や、空床活用の事例など実態把握するとともに、好事例を横展開することで普及啓発していくことを目的としています。

(2) 研究の意義

2020(令和2)年10月より日常生活支援住居施設の制度が始まり、全国で運営されています。個別支援計画に基づき日常生活上の支援を提供する一連の手法は、制度化の前から実践し習熟している施設従事者もいる一方で、制度化して初めて取り組んだという施設従事者も一定数おり、全国の日常生活支援住居施設で提供される支援の質を担保するために研修教材や研修手法の開発が必要です。また、空床を他制度で活用することは、支援を必要とする人に支援を行き届かせることであると同時に、施設運営事業者の経営安定化にも資すると考えます。好事例を研修で展開していくことで、全国の日常生活支援住居施設で提供される支援の質の底上げと、施設の安定運営の推進を図ります。

また本調査研究によって得られた情報は、政策提言や制度の改正、支援の質の向上につながるための取り組みとして今後、生かしていきます。

3. 研究の方法

本研究は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、WEB調査法(WEBによるアンケート調査(自己記入式調査)、インタビュー調査(個別面接調査))を用います。

原則、WEB調査法を用いることを想定していますが、参加していただくみなさまの状況によっては、アンケート用紙での回答や電話による回答も可能です。みなさまの参加しやすい方法を選択して、研究責任者、事務局へご相談ください。

調査期間は、2022(令和4)年10月31日～2023(令和5)年2月28日までを予定しております。

4. 本研究に関する情報公開はつぎのような方法で行っております。

研究結果は、事業報告書として厚生労働省に提出いたします。調査研究によって得られた調査データ・研究結果等に関して情報公開の際には、研究参加者の施設、氏名、その他の個人情報に匿名化し、個人が特定できないように処理することで匿名性を保持いたします。研究参加者の同意なしに、個別の団体や施設が特定される形で回答内容を公表することはありません。

5. 個人情報等の取扱いは次の通りです。

本調査で得られた文字及び音声データの取り扱いは、個人情報保護法(要配慮個人情報含む)を順守し、報告書等の作成時に組織名・回答者・利用者名等が特定できない記載(アルファベット、数字・記号等による表記)といたします。

6. いただきました情報の保管及び廃棄の方法は次の通りです。

情報の不正使用等がないことを証明できるよう、研究に係る情報は事務局の管理にて5年間厳重に保管し、その後、データの消去・破壊及び紙媒体の資料をシュレッダーなどで破棄いたします。

7. いただきました情報を別の目的で用いる可能性又は他の研究機関に提供する可能性はありません。

以上

研究に対する問い合わせ、苦情の窓口の連絡先

研究責任者：一般社団法人全国日常生活支援住居施設協議会 代表理事 立岡学

電話番号：022-398-9854 音声案内3(特定非営利活動法人ワンファミリー仙台 総務企画課)